- -1 - -1

雇用等の分野における男女共同参画の推進

1 雇用の場における男女共同参画意識の普及

| 事 業 | 平成21年度事業実施概要 | 担当室 |
|---------------------------------|---|-----------------------|
| チャレンジ支援 ネットワークの 設置 | | 生活・文化部男女共 同参画・NPO室 |
| チャレンジシンポ ジウムの開催 | ・女性のチャレンジの気運醸成やその支援を啓発する ため、講演会等を実施した。 「みえチャレンジシンポジウム」の開催 平成22年2月27日(土) 場所:三重県総合文化センター 講師:小室淑恵さん ((株)ワーク・ライフバランス代表取締役) 参加者:256人 | 生活・文化部男女共 同参画・NPO室 |
| 出前トーク等の 実施 | ・年間 83回 (うち、フレンテトーク 57回) 対象:市町、各種団体等 | 生活・文化部男女共 同参画・NPO室 |
| 仕事と生活の調和 推進のための環境 整備 | ・「取り組んでいますか仕事と生活の調和」 シンポジウムを開催 平成22年2月17日(水) 講師:脇坂明(学習院大学経済学部教授) 場所:プラザ洞津 参加者数:89人 | 生活・文化部勤労・ 雇用支援室 |
| 情報発信 | | 生活・文化部勤労・ 雇用支援室 |
| 次世代育成支援のための環境整備及び一般事業主行動計画策定の啓発 | ・三重県社会保険労務士会と連携し、社会保険労務士を「次世代育成支援推進アドバイザー」と位置づけて県内中小企業を訪問し、次世代育成支援の周知・啓発、取組の促進を行うとともに、一般事業主行動計画の策定・届出を支援した。 次世代育成支援対策にかかる周知・啓発訪問企業 150社 一般事業主行動計画の策定・届出支援企業 14社 | 健康福祉部こども未来室 |
| 「三重の労働」の 発行 | ・「三重の労働」の発行 年7回発行 各3,400部 | 生活・文化部勤労・ 雇用支援室 |
| 企業等における人 権の視点による活 動促進支援事業 | ・CSRに関する動向把握や、企業のCSRレポートにおける人権に関する取組項目の洗い出しなど、ガイダンスの策定に向けた情報収集・分析に取り組むとともに、県内企業等に対する人権研修の実施を通じたCSRの一環としての人権の視点での取組の重要性や意義等の啓発を行ってきました。 | 生活・文化部人権・ 同和室 |

- -1 - -1

| 事 業 | 平成21年度事業実施概要 | 担当室 |
|--------------------------------|---|----------------|
| 建設工事入札時 評価項目の継続 実施 | ・公共工事の総合評価方式において、関係部局と調整し『男女共同参画』や『次世代育成支援』など企業の社会的責任等にかかる取組を評価項目として導入した。継続評価を行うことで建設業界でもこのような取組が徐々に広がってきた。 | 県土整備部入札管理 室 |
| 物件関係入札時の 評価項目としてマ ニュアル作成 | ・入札金額だけでなく事業者技術力や社会貢献度、男女共同参画への取組等を評価して落札者を決める総合評価方式の一般競争入札を推進することとし、効果的、効率的に実施するためのマニュアルにより、所属への周知を行った。 | 出納局会計支援室 |

2 男女の均等な機会と待遇の確保の推進

| 事 業 | 平成21年度事業実施概要 | 担当室 |
|--------------------------------|--|-----------------------|
| 企業表彰の実施 | ・公募制による企業表彰及び応募企業へのインタ ビュー調査を実施 男女がいきいきと働いている企業三重県知事表彰選 考委員会により、20企業を最終選考し、6企業に知事 表彰を行った。 | 生活・文化部勤労・ 雇用支援室 |
| ポジティブ・アク ション取組事例の 紹介 | ・知事表彰(男女がいきいきと働いている企業表彰) を受けた企業の取組事例をパンフレットに掲載・配 布し、取組事例を発表した。 | 生活・文化部勤労・ 雇用支援室 |
| 三重県内事業所賃 金等実態調査を実 施 | ・県内の事業所の実態を把握するため、三重県内事業 所賃金等実態調査を実施した。 | 生活・文化部勤労・ 雇用支援室 |
| 企業等における 男女共同参画の 取組促進 | ・働く女性を取り巻く課題に対応するため、企業等に対し男女共同参画の視点を生かした経営等のコンサルティングや、ワーク・ライフ・バランスなどの相談・研修、働く女性のネットワークづくりを行い企業等における男女共同参画の取組を促進した。コンサルティング 2件、相談・研修 10件ネットワーク会員数 19名 | 生活・文化部男女共 同参画・NPO室 |
| 建設工事入札時 評価項目の継続 実施 | ・公共工事の総合評価方式において、関係部局と調整 し『男女共同参画』や『次世代育成支援』など企業 の社会的責任等にかかる取組を評価項目として導入 した。継続評価を行うことで建設業界でもこのよう な取組が徐々に広がってきた。 | 県土整備部入札管理 室 |
| 物件関係入札時の 評価項目としてマ ニュアル作成 | ・入札金額だけでなく事業者技術力や社会貢献度、男女共同参画への取組等を評価して落札者を決める総合評価方式の一般競争入札を推進することとし、効果的、効率的に実施するためのマニュアルにより、所属への周知を行った。 | 出納局会計支援室 |

3 男女共同参画の視点に立った能力開発に対する支援

| 事 業 | 平成21年度事業実施概要 | 担当室 |
|--------------------------|---|-----------------------|
| 能力開発への支援 | ・社会情勢の変化やニーズに対応した職業訓練の実施をすすめるとともに、関係機関と連携し積極的にPR活動を行った。 ・津高等技術学校 普通職業訓練 短期課程 パソコンCAD科(6ヶ月課程×2回) 延べ16人(うち女性8人) 販売ビジネス科(6ヶ月課程×2回) 延べ17人(うち女性11人) OA事務科 障害者対象(1年課程) 延べ4人(うち女性1人) 委託訓練 OA系、介護系、医療事務系 31講座 (3ヶ月、4ヶ月) 延べ418人(うち女性331人) | 生活・文化部勤労・ 雇用支援室 |
| チャレンジ支援 ネットワークの 設置 | ・女性のチャレンジ支援を総合的に支援するため、各 支援機関からなる「三重県チャレンジ支援推進連携 会議」を設置した。 構成団体数:30団体(22.3.31) 会議開催回数:全体会3回、部会4回 | 生活・文化部男女共 同参画・NPO室 |
| 「みえチャレンジ プラザ」の運営 | ・意欲のある女性等の就業をはじめとした社会参画を 支援するため、平成19年6月、四日市市内に開設し た「みえチャレンジプラザ」において、チャレンジ 相談や一時託児等のサービスを提供した。 チャレンジプラザ利用者数:8,820人 相談件数:延べ874件 | 生活・文化部男女共 同参画・NPO室 |
| 「みえチャレンジ プラザ」の広報 | ・「三重の労働」などの各種媒体を通して、みえチャレンジプラザについて周知を図った。 ・四日市市内の保育所及び幼稚園の協力を得て、在園児童の保護者等に対して約11,000枚の案内リーフレットを配布した。 ・伊賀市、四日市市、鈴鹿市、津市、亀山市のフォーラム、その他イベント等において、延べ1,221人に対してPRを行った。 | 生活・文化部男女共 同参画・NPO室 |

| 事業 | 平成21年度事業実施概要 | 担当室 |
|--|---|------------------|
| 出前相談、セミナー等の開催 | ・鈴鹿市、四日市市、伊賀市、名張市、津市、健康福祉部等の事業と協働で、出前相談や適職相談等のブースを出展した。 ・女性のチャレンジ支援の普及を図るために、みえチャレンジプラザ等においてセミナー及び研修を開催し | |
| | た。 チャレンジプラザセミナー 日時:平成21年7月8日(水) 講師:杉浦 礼子 さん (高田短期大学オフィス情報学科準教授) 参加者数:14人 「さんかくカレッジ2009・今年中に仕事を持つ方法」 (四日市市との共催事業) 日時:平成21年9月8日(火)9日(水) 場所:四日市市男女共同参画センター 講師:長野ゆき子さん他 | |
| | ((有) 幸プランニング代表取締役) 参加者:27人 パソコンスキルアップ講座 平成21年10月5日~30日 Word入門 半日6日間 Excel入門 半日6日間 Word、Excel初級 全日3日間、半日6日間 場所:四日市情報外語専門学校 受講者数:47人 | |
| 出産・育児等によ り退職した女性医 師等に対する復帰 支援 | ・出産・育児等により退職した女性医師等に対して、みえ医師バンクを通じた情報提供、再就業の相談など、 復帰支援の取組を進めた。 復帰支援を行った女性医師数1人 | 健康福祉部医療政策 室 |
| 出産・育児等によ り退職した潜在看 護職員に対する就 業相談・研修会の 開催 | ・潜在看護職員に対する就業相談、無料職業紹介、就職 説明会の開催および復職に向けた実技研修を実施し た。 就職相談 延べ5,960件 無料職業紹介・斡旋による就業者数 454人 就職説明会の開催 5回 実技研修の参加者 18人 | 健康福祉部医療政策 室 |
| 就業していない看 護師免許保有者に 対する研修会の実 施 | ・就業していない看護師免許保有者に対して、再就職 に必要な基本的な知識・技術の習得を支援する研修 会を開催した。 開催回数:1回 参加者数:10人 | 病院事業庁県立病院 経営室 |

4 柔軟な就業形態の推進や再就職への支援

| 事 業 | 平成21年度事業実施概要 | 担当室 |
|---------------------------------|--|-------------------------|
| パート情報セン ターの設置 | ・設置場所:鳥羽市 来室者数:4,596人 相談件数:3,641件 主な相談内容:職業情報提供 | 生活・文化部勤労・ 雇用支援室 |
| 労働相談の実施 | ・パートタイム労働者を含む勤労者からの労働に関す る相談及びパート労働法等の周知、相談を実施 | 生活・文化部勤労・ 雇用支援室 |
| 仕事と生活の調和 推進のための環境 整備 | ・「取り組んでいますか仕事と生活の調和」 シンポジウムを開催 平成22年2月17日(水) 講師:脇坂明(学習院大学経済学部教授) 場所:プラザ洞津 参加者数:89人 | 生活・文化部勤労・ 雇用支援室 |
| 次世代育成支援のための環境整備及び一般事業主行動計画策定の啓発 | ・三重県社会保険労務士会と連携し、社会保険労務士を「次世代育成支援推進アドバイザー」と位置づけて県内中小企業を訪問し、次世代育成支援の周知・啓発、取組の促進を行うとともに、一般事業主行動計画の策定・届出を支援した。 次世代育成支援対策にかかる周知・啓発訪問企業 150社 一般事業主行動計画の策定・届出支援企業 | 健康福祉部こども未 来室 |
| 多様な勤務形態の 検討 | ・多様な勤務形態について、公務員制度改革や次世代 育成支援、育休法等の改正を視野に入れ、検討を 行った。 | 総務部人材政策室 |
| 雇用相談員による 職業相談 | ・尾鷲と熊野のハローワークで県の雇用対策事業等の 相談を実施 | 生活・文化部勤労・ 雇用支援室 |
| おしごと広場みえ 若者就職総合サ ポート事業 | ・若年者に対し、職業相談、職業紹介等のサービスを ワンストップで提供 利用者数 35,617人 | 生活・文化部勤労・ 雇用支援室 |
| チャレンジ支援 ネットワークの 設置 | ・女性のチャレンジ支援を総合的に支援するため、各 支援機関からなる「三重県チャレンジ支援推進連携 会議」を設置した。 構成団体数:30団体(22.3.31) 会議開催回数:全体会3回、部会4回 | 生活・文化部男女共 同参画・NPO室 |
| 「みえチャレンジ プラザ」の運営 | ・意欲のある女性等の就業をはじめとした社会参画を 支援するため、平成19年6月、四日市市内に開設し た「みえチャレンジプラザ」において、チャレンジ 相談や一時託児等のサービスを提供した。 チャレンジプラザ利用者数 8,820人 相談件数 延べ874件 | 生活・文化部男女共 同参画・N P O室 |

| 事 業 | 平成21年度事業実施概要 | 担当室 |
|--|---|-----------------------|
| 「みえチャレンジ プラザ」の広報 | ・「三重の労働」などの各種媒体を通して、みえチャレンジプラザについて周知を図った。 ・四日市市内の保育所及び幼稚園の協力を得て、在園児童の保護者等に対して約11,000枚の案内リーフレットを配布した。 ・伊賀市、四日市市、鈴鹿市、津市、亀山市のフォーラム、その他イベント等において、延べ1,221人に対してPRを行った。 | 生活・文化部男女共 同参画・NPO室 |
| 出前相談、セミナー等の開催 | ・鈴鹿市、四日市市、伊賀市、名張市、津市、健康福祉部等の事業と協働で、出前相談や適職相談等のプースを出展した。 ・女性のチャレンジ支援の普及を図るために、みえチャレンジプラザ等においてセミナー及び研修を開催した。チャレンジプラザセミナー日時:杉浦 礼子 さん (高田短期大学オフィス情報学科準教授)参加者数:14人「さんかくカレッジ2009・今年中に仕事を持つ方法」(四日市市との共催事業)日時:平成21年9月8日(火)9日(水)場所:四日市市との共に事業の出版を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を開始を | 生活・文化部男女共同参画・NPO室 |
| 出産・育児等によ り退職した女性医 師等に対する復帰 支援 | ・出産・育児等により退職した女性医師等に対して、 みえ医師バンクを通じた情報提供、再就業の相談な ど、復帰支援の取組を進めた。 復帰支援を行った女性医師数1人 | 健康福祉部医療政策 室 |
| 出産・育児等によ リ退職した潜在看 護職員に対する就 業相談・研修会の 開催 | ・潜在看護職員に対する就業相談、無料職業紹介、就職説明会の開催および復職に向けた実技研修を実施した。 就職相談 延べ5,960件 無料職業紹介・斡旋による就業者数 454人 就職説明会の開催 5回 実技研修の参加者 18人 | 健康福祉部医療政策室 |
| 就業していない看 護師免許保有者に 対する研修会の実 施 | ・就業していない看護師免許保有者に対して、再就職 に必要な基本的な知識・技術の習得を支援する研修 会を開催した。 開催回数:1回 参加者数:10人 | 病院事業庁県立病院 経営室 |

5 両立支援制度の普及と働き方の見直しの促進

| 事 業 | 平成21年度事業実施概要 | 担当室 |
|---------------------------------|---|--------------------|
| 家庭の日の普及 啓発 | ・県職員及び来庁者への周知を図るための庁内放送を 実施するとともに、県ホームページにおいて「家庭 の日」における公的施設の無料開放情報を提供し た。 | 健康福祉部こども未来室 |
| ファミリー・サポ ート・センターの 設置促進 | ・ファミリー・サポート・センターを設置・運営する 市町に対して補助を実施するとともに、アドバイザ ーの研修会を実施し、啓発用リーフレットを配布し た。 | 健康福祉部こども未来室 |
| | 概ね人口5万人以上の市町のセンターに係る 設置・運営費への補助:県1/4 概ね人口5万人未満の市町のセンターに係る 設置・運営費への補助:県1/2 センター設置数:18箇所 | |
| 貸付制度の運用 | ・育児・介護休業取得者に対する貸付制度を運用 | 生活・文化部勤労・ 雇用支援室 |
| 仕事と生活の調和 推進のための環境 整備 | ・「取り組んでいますか仕事と生活の調和」 シンポジウムを開催 平成22年2月17日(水) 講師:脇坂明(学習院大学経済学部教授) 場所:プラザ洞津 参加者数:89人 | 生活・文化部勤労・ 雇用支援室 |
| 次世代育成支援のための環境整備及び一般事業主行動計画策定の啓発 | ・三重県社会保険労務士会と連携し、社会保険労務士を「次世代育成支援推進アドバイザー」と位置づけて県内中小企業を訪問し、次世代育成支援の周知・啓発、取組の促進を行うとともに、一般事業主行動計画の策定・届出を支援した。 次世代育成支援対策にかかる周知・啓発訪問企業 150社 一般事業主行動計画の策定・届出支援企業 14社 | 健康福祉部こども未来室 |
| 県庁における労働 時間短縮に向けた 取組 | ・年間の総勤務時間目標を定め、時間外勤務の縮減や 年次有給休暇の取得促進などを推進する総勤務時間 縮減運動に労使協働で全庁的に取り組んだ。 | 総務部経営総務室 |
| 病院内保育への 支援 | ・県内の病院内保育施設における保育士の人件費の一 部を助成 助成保育施設 21施設 | 健康福祉部医療政策 室 |
| 県立病院内保育所 における保育サー ビスの提供 | ・看護師等の職業生活と家庭生活の両立を支援するため、県立病院内に設置している2箇所の院内保育所において、保育サービス(夜間保育、延長保育、一時保育を含む)を提供した。 | 病院事業庁県立病院 経営室 |

| 事業 | 平成21年度事業実施概要 | 担当室 |
|------------------------------|--|-----------------|
| みえ次世代育成応 援ネットワーク事 業の拡充 | ・次世代育成支援の具体的な取組を進めるため、みえ次世代育成応援ネットワークの参加企業・団体の拡大をはかった。 新規加入会員 54団体・企業 | 健康福祉部こども未来室 |
| | ・子どもや子育て家庭を中心に、さまざまな人が交流 するとともに、子育てを応援する気運を醸成するた め、「子育て応援!わくわくフェスタ」を実施し た。 | |
| | 開催日:平成22年1月16日~17日 開催場所:県営サンアリーナ 出展団体・企業等:100団体・企業 参加者数:約18,000人 | |
| 企業の次世代育成 支援促進 | ・次世代育成支援に関心のある企業等で働きながら子 育てを行う県民等を対象にしたセミナーの開催 開催回数:1回 | 健康福祉部こども未 来室 |
| 多様な保育等への支援 | ・低年齢児保育、延長保育、一時保育、休日保育、 病気回復期保育等の多様なニーズに対応する取組 への補助 一時保育実施数:54か所 延長保育実施数:158か所 休日保育実施数:9か所 病気回復期等の病児の病後児保育事業 実施市町村:11市町 | 健康福祉部こども家 庭室 |
| 放課後児童クラブ の設置・運営支援 | ・放課後児童クラブの設置・運営にかかる経費の一部を助成した。 運営費補助件数:238 ・放課後児童クラブの指導員等を対象に研修を実施した。 開催回数:2回 | 健康福祉部こども未 来室 |